



日本の公共交通を変える GTFS-JP

2021年9月16日

豊田哲也

国際教養大学アジア地域研究連携機構

秋田公共交通情報プロジェクト

日本の公共交通を変える GTFS-JP

全国の公共交通を網羅的にカバーするオンライン経路検索が実現すれば、公共交通がさらに使いやすくなり、地域社会が変わります。

日本の公共交通を変える GTFS-JP

1. 経路検索に出ない路線は「存在しない」!
2. つながってこそネットワーク
3. オンライン地図を使いやすく
4. 普遍的なモビリティの実現に向けて

経路検索に出ない路線は「存在しない」！

1) 常識になったオンライン経路検索

2) 「バスを使ってみよう」と思わせる

3) デジタルでの外国語対応

- 自国語オンリーの路線検索はもったいない。
- オンライン地図なら外国語対応もお任せです。

つながってこそネットワーク

1) 乗り継ぎの重要性

2) 乗り継ぎ検索の重要性

3) 結局はタクシーを使うかもしれませんが、公共交通でも行けるかどうか大切です。

オンライン地図を使いやすく

1) 音声入力でさらに便利！

- ナビタイムでも、Siriでも、Google Assistantでも

2) バスロケの一般化

- 乗り換えこそバスロケ。将来は地下鉄や鉄道も。

3) きめ細かなGTFS-JP

普遍的なモビリティの実現に向けて

1) 高齢化社会のモビリティ

「超高齢化社会の足を支える」([交通政策白書2019](#))

2) なぜ地方は不便なのか

「交通手段等に対する不便・不満」([国土交通白書2018](#))

3) 「GTFS-JPは難しくない」([拙稿](#))

4) 国と自治体と事業者の役割

経済合理性の追及、公益実現の確保、ルール作り